

このメールは、名刺交換させていただいたお客様に最新情報をお届けしています。
今後の配信を希望されない場合はメール下部リンクより配信停止が行えます。

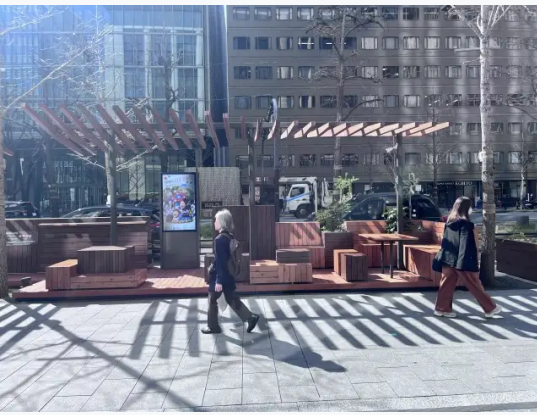
道路空間の利用方法も多様化の時代へ

こんにちは、
イトーヨーギョーの廣瀬です。
近所の梅の花が今年も見事に咲いているのを発見し、春の訪れを喜んでおります。
同時に花粉症もスタートし今年もこの季節が来たのかと複雑な気持ちです。

厚手のコートから薄手の上着でも外に出られるようになり
カフェやレストランのテラス席にも人が増えたように感じます。

さて本日は変化する道路の活用方法をご紹介します。

街づくりは「車中心」から「人中心」へ

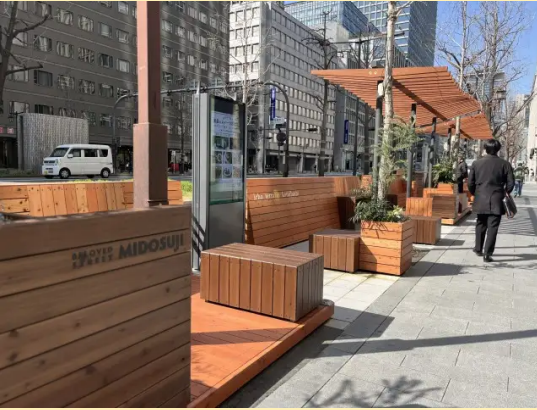


最近では街中のふとした場所におしゃれな休憩スペースが増えています。
こうした車道の一部を活用した歩行者の為の空間をパークレットと呼び、
都心の新たな憩いや賑わいの創出を目的として設置されています。

また2020年11月25日には、道路を「通行」以外の目的で柔軟に利用できるようにする制度「ほこみち制度」が制定され、道路空間を活用する際に必要となる道路占用許可が柔軟に認められるようになりました。（※出典1：[【国土交通省】道路空間の利活用について](#)）



変化する大阪の街並み



大阪 淀屋橋三井ビルディング前に設置された御堂筋パークレット：いちょうテラス淀屋橋



2車線閉鎖で幅13.5mの歩道が誕生した大阪市御堂筋：心斎橋周辺

道路空間も多様化の時代がきています。
[2020年6月に掲げられた道路政策のビジョン「2040年、道路の景色が変わる」](#)をもとに
・安心安全な道路通行機能、空間創出
・多様なモビリティと物流ニーズに対応した道路
など、人を中心とした道路の変化が求められています。（※2※3）

※出典2：[【国土交通省】2040年、道路の景色が変わる](#)

※出典3：[【国土交通省】路肩等の柔軟な利活用事例](#)

いつもの歩道が発電所に

こうした道路空間の変化の中に路面ソーラーが活用され始めています。

太陽光発電と言えば広大な土地に設置するメガソーラーが代表的ですが
近年注目されているのが道路に設置する太陽光発電です。
イトーヨーギョーではコンクリート平板とソーラーパネルが一体型となった路面ソーラーをご提案いたします。



歩道を有効活用し、道路での太陽光発電を実現！
【路面ソーラー】
ソーラーパネルを搭載した平板です。
埋設配管作業不要で、従来の平板舗装と同等に施工できます。
歩道へ設置し発電した電力をその場で使用することが可能で、
電気の地産地消を実現させます。

▼
**人が集うパークレット周辺道路で発電
その場の設備で電力使用可能！**

道路空間の多様なニーズにお応えできるよう精進してまいります！

最後までご覧いただきありがとうございます。
お問合せは[こちら](#)から

お手数をお掛けしますが
配信停止は[こちら](#)から
ご愛読ありがとうございました！

※上記をクリックいただいても配信停止ができない方は
こちらのメールに直接"配信停止"とご返信ください。

◆発行元◆
株式会社イトーヨーギョー 営業企画室
〒531-0071 大阪府北区中津6丁目3-14
TEL：06-6455-2503
[https://itoযোগyo.co.jp/](https://itoयोगyo.co.jp/)